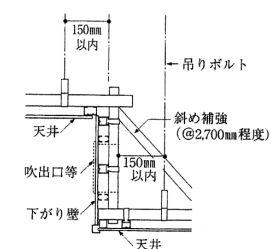
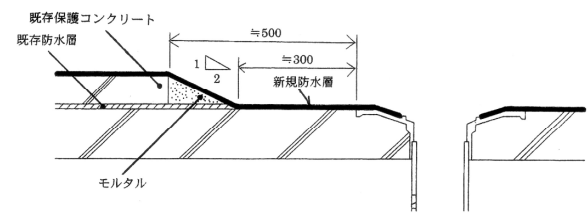


正 誤 表

平成22年6月9日

ご購入いただきました図書に下記の誤りがありました。お詫びすると共に、お手数ですがご訂正下さいますようお願い申し上げます。

1 級建築施工管理技術検定試験問題解説集録版 2010年版

頁	訂正箇所	誤	正
29	【問題 No.36】の解説3.を差替え	ダブルファスナー形式の場合の取付け代として、石材の裏面と躯体コンクリート面の間隔は、70mmを標準とする。(図は削除)	
73	【問題 No.11】の解説4.の3行目	を270kg/m ² としている。	を270kg/m ³ としている。
78	【問題 No.21】の解説2.の3行目	…十分な施工計画を樹てて…	…十分な施工計画を立てて…
89	【問題 No.38】の解説3.の1行目	…場合には、図-3のように…	…場合には、図-4のように…
	【問題 No.38】の解説3.に図-4を追加	 <p style="text-align: center;">図-4 天井に段違いがある場合</p>	
96	【問題 No.48】の解説1.の1～2行目	…立積み2段以内とする。ただし、砂付きルーフィング類は…	…立積み1段とする。また、砂付きルーフィング類は…
118	【問題 No.80】の解説上から7行目	………… 4肢	………… 3肢, 4肢
	【問題 No.80】の解説上から9行目	………… 1肢, 3肢	………… 1肢
119	【問題 No.82】の解説4.の1行目	令第11条第3項第二号のイに、…	令第11条第3項第一号および第二号のイに、…
	【問題 No.82】の解説4.の2行目	…水平距離が15m以下…	…水平距離が1号消火栓で25m以下、2号消火栓で15m以下…
139	【問題 No.29】の解説1.の2～4行目を差替	失が小さくなり、圧送性もよくなる。JASS 5では粗骨材の最大寸法に対する輸送管の呼び寸法を以下の表のとおりとしており、125Aを使用してもよい。	
141	【問題 No.31】の解説4.の1行目	…対して1/3程度、かつ…	…対して1/3以上 (JASS 6では程度)、かつ…
205	【問題 No.34】の解説4.の図内表記	ストレッチルーフィング1000幅300mm以上	ストレッチルーフィング1000幅700mm以上
206	【問題 No.36】の解説1.の1～2行目	…85mm以上で90mmを標準…	…70mmを標準…
213	【問題 No.45】の解説4.の図を差替	 <p style="text-align: center;">保護層および防水層を撤去した場合の地下処理</p>	

頁	訂正箇所	誤	正
238	【問題 No.81】の解説の5～7行目を差替	三 駅舎その他の鉄道の施設，図書館，公民館，変電所その他これらに類する公益上必要な建築物のうち開発区域及びその周辺の地域における適正かつ合理的な土地利用及び環境の保全を図る上で支障がないものとして政令で定める建築物の建築の用に供する目的で行う開発行為	
260	【問題 No.27】の解説4.を差替	コンクリートの養生期間は，JASS 5では計画供用期間の級が長期の場合，早強ポルトランドセメントを用いる場合は5日以上，普通ポルトランドセメントを用いる場合は7日以上としている。	
273	【問題 No.44】の解説2.の図-2	かかり代 300mm以上	かかり代 30mm以上
276	【問題 No.48】の解説3.の2行目	…により， <u>75cm</u> 以上…	…により， <u>85cm</u> 以上…
279	【問題 No.52】の解説2.の1～2行目	…立積み <u>2段以内</u> とする。 <u>ただし</u> ，…	…立積み <u>1段</u> とする。 <u>また</u> ，…
315	【問題 No.28】のヒントの3行目	設問の場合，D.Lは $23.5(\text{kN}/\text{m}^2) \times \dots$	設問の場合，D.Lは $23.5(\text{kN}/\text{m}^3) \times \dots$
324	【問題 No.48】のヒントの2行目	受電（50kW以下）…	受電（50kW未満）…
376	【問題 No.80】のヒントの1行目	令第11条第3項第二号のイに，…	令第11条第3項 <u>第一号</u> および第二号のイに，…
	【問題 No.80】のヒントの2行目	…水平距離が25m以下…	…水平距離が1号消火栓で25m以下，2号消火栓で15m以下…
391	【問題 No.28】のヒントを差替	建築工事監理指針では，コンクリート打込み時における打継ぎ時間（打重ね時間）の限度として，外気温25℃以下で120分，25℃を超える場合は90分を目安としている。	
460	【問題 No.11】のヒントを差替	鋼は一般に200～300℃で，常温よりも伸びや絞りが減少して脆くなる。	
470	【問題 No.36】のヒントの2行目 ※2ヶ所	…石裏面処理剤…	…石裏面処理材…

平成20年度【問題 No.78】の選択肢4.の解説についての補足説明

頁	補 足
116	法第15条の3，則第18条の6に，建設業の元方事業者の選任義務，仕事の種類，労働者数の規模等が規定されている。店社安全衛生管理者を選任するとき，法第88条による届出についての規定はない。 法第100条，則第664条により，「特定元方事業者は店社安全衛生管理者を選任したときは，当該作業の開始後，遅滞なく，事業開始報告により所轄労働基準監督署長に報告しなければならない。」と規定されており，「届出」の制度ではなく「報告」の制度である。

平成18年度【問題 No.5】の解説2.の補足説明

頁	補 足
181	柱内への定着は，図-1のように柱の中心線を越えた位置を折曲げ起点とし，仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さは，原則として，柱せいの3/4倍以上確保する。

平成18年度【問題 No.33】について

頁	
203	この問題は，JASS 21の改定により，現在不適切になりました。したがって，学習の対策となりませんので【解説】，【正解】は省略します。

平成18年度【問題 No.51】について

頁	
217	この問題は，JASS 15の改定により，現在不適切になりました。したがって，学習の対策となりませんので【解説】，【正解】は省略します。

平成17年度【問題 No.39】の設問4. について

頁	
269	挟まれ事故の防止方式は出題当時二段降下方式でしたが、現在は公共建築工事標準仕様書の改定により障害物感知方式と読み替えた上にて解答して下さい。

平成17年度【問題 No.82】について

頁	
299	この問題は、法律の改正（平成19年）により、現在不適切になりました。したがって、学習の対策となりませんので【解説】，【正解】は省略します。

平成16年度【問題 No.81】について

頁	
339	この問題は、法律の改正（平成19年）により、現在不適切になりました。したがって、学習の対策となりませんので【ヒント】，【正解】は省略します。

平成15年度【問題 No.23】について

頁	
350	この問題は、JASS 3の改定により、現在不適切になりました。したがって、学習の対策となりませんので【ヒント】，【正解】は省略します。

平成15年度【問題 No.36】の設問3. について

頁	
356	石材の表面と躯体表面の間隔は出題当時90mmでしたが、現在はJASS 9の改定により70mmと読み替えた上にて解答して下さい。

平成15年度【問題 No.51】の設問1. について

頁	
362	溶融アスファルトの施工時の下限温度は出題当時200℃でしたが、現在は建築工事監理指針の改定により、230℃と読み替えた上にて解答して下さい。

平成14年度【問題 No.13】について

頁	
385	この問題は、JISの改正により、現在不適切になりました。したがって、学習の対策となりませんので【ヒント】，【正解】は省略します。

平成14年度【問題 No.18】について

頁	
387	この問題は、JISおよび建築基準法施行令の規定に基づく告示の改正により、現在不適切になりました。したがって、学習の対策となりませんので【ヒント】，【正解】は省略します。

平成13年度【問題 No.10】の設問4. について

頁	
421	コンクリートの所要空気量は出題当時4.0%以上5.0%以下でしたが、現在はJASS 5の改定により4.5%と読み替えた上にて解答して下さい。

平成13年度【問題 No.42】の設問3. について

頁	
434	シーリングせっこうボード切断面の塗装は出題当時エマルジョンペイントでしたが、現在はJASS 26の改定によりアクリル系シーラーと読み替えた上にて解答して下さい。

平成13年度【問題 No.44】の設問3. について

頁	
434	造作材含水率は出題当時18%以下でしたが、現在は公共建築工事標準仕様書の改定により15%以下と読み替えた上にて解答して下さい。

平成13年度【問題 No.18】について

頁	
445	この問題は、公共建築工事標準仕様書の改定により現在不適切になりました。したがって、学習の対策となりませんので、【ヒント】、【解答】は省略します。

平成12年度【問題 No.6】について

頁	
457	この問題は、建築基礎構造設計指針の改定により現在不適切になりました。したがって、学習の対策となりませんので、【ヒント】、【解答】は省略します。

平成12年度【問題 No.12】の設問1. について

頁	
460	磁器質タイルの吸水率は出題当時1.0%以下でしたが、現在はJISの改定により、3.0%以下と読み替えた上にて解答して下さい。

平成12年度【問題 No.34】について

頁	
469	この問題は、公共建築工事標準仕様書の改定により現在不適切になりました。したがって、学習の対策となりませんので、【ヒント】、【解答】は省略します。

平成12年度【問題 No.3】について

頁	
475	この問題は、山留め設計施工指針の改定により、現在不適切になりました。したがって、学習の対策となりませんので【ヒント】、【正解】は省略します。